

国語総合 休校課題 (5月12日)

洛東高等学校 国語科

現代文分野では、『わたしであり、あなたでなくちゃ』の課題プリントに取り組んでももらいましたね。お疲れ様でした。休校が終わり、みなさんと出会ってから対面の授業で復習をする予定です。さて、次の課題は

小説『羅生門』を読んで感想文を書いてみる。

京都市南区には、平安京に入っていく入り口である羅城門らじょうもんがそびえていました。

JR京都駅中央口の広場の一角に、羅城門の復元模型が展示されています。

さて、その羅城門は今は石碑だけになっています。が、当時は大きな二階建ての大門でした。小説『羅生門』は、そこが舞台です。いったい、どんな物語が展開するのでしょうか!!

《読む前にこんなことに注意》

- ① 読めない漢字は○で囲んでおく。漢和辞典を持っている人はすぐに意味を調べるのをすすめます。
- ② 主人公は、解雇されて困っているひとりの男です。小説中では「下人げにん」と呼ばれています。名前はわかりません。
- ③ 主人公が、羅生門の二階で出会うのが、ある老婆です。ふたりの間にやりとりされる会話をじっくり読んでください。とても大事な内容です。
- ④ 主人公である下人の心の動き、真理の変化を傍線を引くなどして、読み終わった後に振り返るようにしておきましょう。

《読んだ後にすること》

- ① 一番、ここに残っている場面をもう一度、読み直してみる。
- ② 下人の言動や老婆の言動を自分はどうのように感じたかを書いてみる。
あくたがわりゆうのすけ
- ③ この小説を書いた芥川龍之介は、何を伝えたくて書いたのだろうかを考えてみる。
- ④ ①②③をよく考えてから、自分の感じ方や意見がまとまってきたら、感想文を書き始めましょう。

《感想文を書く時の注意》

- ① 古文の課題に取り組んだ同じノートの新たなページに書いてください。
- ② 一行おきに見やすく書きましょう。
- ③ 可能な限り、漢字で書ける単語は漢字で書いてください。
- ④ 最低でも20行書きましょう。頑張ってください!!
- ⑤ 書き上げたら始めから読んでみてください。自分の言いたいことが書けていますか。書き足りないと思ったら、足して書いてください。

みなさんの感想文を読むのを楽しみにしています。



